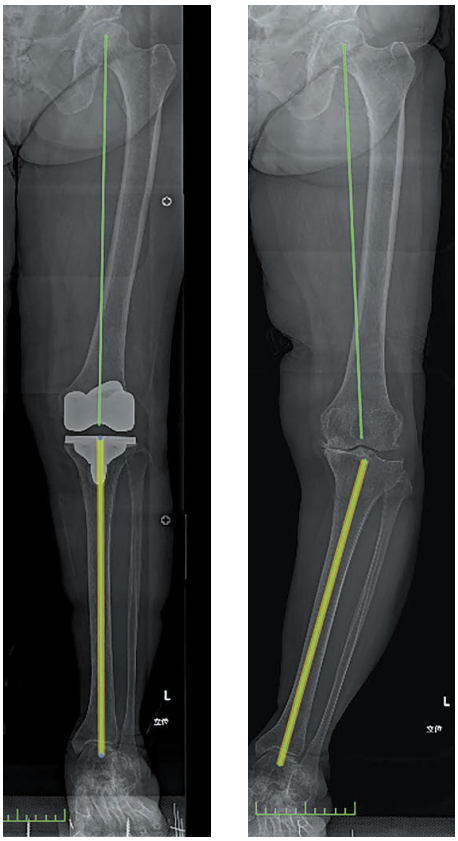
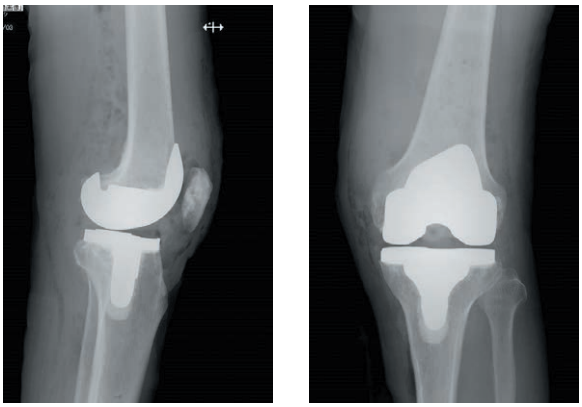
骨折予防と多様なリハビリ
人工膝関節置換術等の手術にも対応

【症例1】



【症例1】左人工膝関節全置換術：手術前のO脚変形（写真右）が、手術後に矯正されている（写真左）

【症例2】



【症例3】

【症例2】左人工膝関節全置換術：手術後の左膝の正面（写真右）と側面（写真左）
【症例3】右人工関節単顆置換術：手術後の右膝の正面（写真右）と側面（写真左）

「高齢になっても自分で歩けて食事も摂れる生き生きとした活動的な日常生活を少しでも長く送っていただきたい」と中島浩芳院長。整形外科全般の検査、治療、手術が行える市内では数少ない有床診療所（19床）である。2021年に下肢手術で実績がある三上将副院長が着任。整形外科常勤医2名体制となり、開院以来力を入れてきた「骨折予防」と「リハビリ」に加え、変形性膝関節症等の症状が進行した患者に対する人工膝関節置換術（21年度10件、22年度16件）等の手術にも適宜対応する。

高齢者の骨折は骨粗鬆症による骨の脆弱化が原因であることが多く、骨折すると日常生活動作が低下し、寝たきりになる危険性も高くなる。骨粗鬆症の予防、早期発見・治療を行い、骨折しづらくすることが大切。そのため骨密度測定装置（DXA法）による定期的な検査を実施し、骨密度（骨量）の測定と骨質の評価を行い、より正確な診断と骨折リスクの予測をし、個々の患者により適した治療方法を選択している。

リハビリは、理学・作業療法士、言語聴覚士計9人の専門スタッフが入院及び外来患者に対応。膝・腰痛等の整形外科疾患への運動療法のほか、脳卒中後や神経難病のリハビリにも対応。パワーリハ機器、ウォーターベッド、低周波治療器など設備も充実。併設するデイケア（介護サービス）には1日60名以上の利用者が通い生活期リハビリを行っている。

肩こり等の痛みに効果のある「エコーガイド下ハイドロ（筋膜）リリース注射」や脳卒中等で生じる手足の筋肉のつっぱり（痙縮）の緩和に有効なボトックス治療等の最新治療にも積極的に取り組んでいる。

超音波診断装置（エコー）：従来の機種に加え、2022年11月タブレットエコーを導入、2台体制で検査・診断のほか、肩こり、腰痛等の治療でエコーガイド下ハイドロ（筋膜）リリース注射等にも活用している。

理事長・院長
中島　浩芳

1989年愛知医科大学卒業。北大整形外科入局後、美唄労災病院、釧路労災病院、市立札幌病院、伊達日赤病院、岩見沢北翔会病院などを経て2008年4月光洋整形外科・内科・リハビリ院長に就任。2012年10月に現職就任。日本整形外科学会認定専門医。

副院長
三上　将

1990年岩手医科大学卒業。北大整形外科入局後、名寄市立病院、江別市立病院等に勤務後、2005年より北海道整形外科記念病院勤務、同病院副院長兼人工関節センター長を経て2021年4月より現職。日本整形外科学会認定専門医、日本人工関節学会認定医。

医療法人社団　生き生き会 **光洋いきいきクリニック**
☎(0144)71-2700
苫小牧市光洋町1丁目16番16号
←ホームページはこちらから

診療時間／
整形外科　月・火・水・金／8:30～12:00　13:30～17:00
木・土／8:30～12:00
内科　月・火・水・金／9:00～12:00　13:30～16:30
木／9:00～12:00　13:30～17:00
（整形外科の午前の診療受付は11:30まで）
休診日／整形外科：日・祝日・毎月最終土曜日　内科：土・日・祝日

整形外科・内科・リハビリテーション科